ＨＧＢ 塗料レギュレーター取扱説明書

ＨＧＢ－５０９＆６０９ 手動調節塗料レギュレーター

ＨＧＢ－５１０ リモートエア圧調節塗料レギュレーター

警告

ハロゲン化炭化水素系溶剤 （例： １－１－１トリクロルエチレンと塩化メチレン）はアルミニウムに対して化学反応を引き起こし、爆発の危険性があります。

被塗物の材質データシートやラベルをよくお読みの上、ご使用下さい。

ＨＧＢレギュレーターの塗料通路はＳＵＳ－３０３ステンレス製で、これら溶剤の使用に適しています。

説明

手動調節或いはリモートエアー圧調整により、ＨＧＢ塗料レギュレーターは、１～２丁のスプレーガンへ一定の圧力を供給します。

注意： これらのレギュレーターは最も一般的なコーティングや仕上げに使用されていますが、腐食性の高い液体用ではありませんので、もし腐食性の高い液体に使用すると、定期的な洗浄が必要となり、又、部品の交換頻度も増します。 もし、特別な材質への使用に疑問があるようでしたら、お問合わせ下さい。

型式及び仕様

型式	レギュレータータイプ		1次側圧	2次側圧	最大流量	圧力計
	手動調節	リモート調節	最小/最大	最小/最大	入口圧0.5Mpa	
HGB-509	X		0.2/1.25Mpa	0.1/0.5Mpa	13L/分	無
HGB-609-1.2	X		0.1/0.8Mpa	0.015/0.12Mpa	8.3L/分	0-0.25Mpa
HGB-609-5	X		0.2/1.25Mpa	0.1 /0.5Mpa	13L/分	0-0.6Mpa
HGB-609-9	X		0.3/1.5Mpa	0.3/0.9 Mpa	13L/分	0-1Mpa
HGB-510-R1		X	0.2/1.5Mpa	0.05/1.5Mpa	1.6L/分	無
HGB-510-R2		X	0.1/1.5Mpa	0.015/0.7Mpa	1.3L/分	無
HGB-510-R4		X	0.1/1.5Mpa	0.015/0.4Mpa	0.8L/分	無

すべてのレギュレーターの塗料通路内部はステンレス SUS303 製で、ダイヤフラムはナイロン１１、カバーはニッケル又はアルマイト処理したアルミニウム製です。

ＨＧＢ－６０９レギュレーターはライザーチューブとゲージ付きです。

※ＨＧＢ-５１０の機種別見分け方は、カバーに刻印された矢印がｲﾝﾀｰﾐﾃﾞｱﾘｰﾜｯｼｬｰ(13)の洗浄用ｴｱｺﾈｸﾀｰを指していればＲ１、1/4 を指していればＲ４，1/2 はＲ２です。

取付

- ＨＧＢレギュレーターには塗料出入口が１ヶ所づつあります。
  （口径は全て１/４″ ＢＳＰです。）
- ＨＧＢレギュレーターは垂直方向又は水平方向のどちらにも自由に取付け可能です。
  但し、どちらの場合でもライザーチューブとゲージは垂直に取付けて下さい。
- ゲージは密閉されたエアーにより作動する為、ライザーチューブは必ず取付けて下さい。　ライザーチューブ又はゲージ接続部からの漏れは、ゲージ内への塗料流入を引き起こし、故障の原因となります。

注意

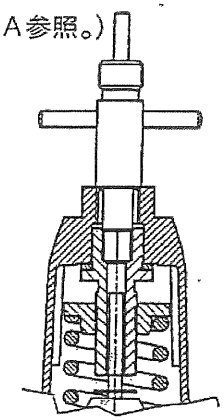
初期の取付けに於いて、一次側配管内の洗浄はレギュレーターを通して行わないで下さい。 Ｏーリングやバルブシート上へのゴミや切り粉等の付着原因となります。

操作

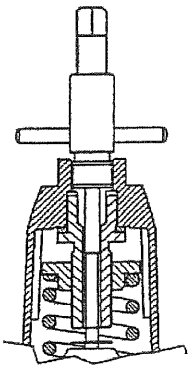
ＨＧＢ－５０９及び６０９手動調節レギュレーターの塗料圧調整は付属の（１）HGB-404-１調節キーで行います。

調節キーの六角部をレギュレーター中央上部の穴に差込み、時計方向に廻すと塗料圧が上がり、反時計方向に廻すと下がります。（図Ａ参照。）

レギュレーターを洗浄する際は、
調節キーの丸棒部を垂直に差込み、
時計方向へいっぱいに廻します。
こうすると設定状態に関係なく
直接ダイアフラムを全開の状態にします。
（図Ｂ参照）
元の状態に戻すには、調節キーを
反時計方向へ廻して下さい。



図Ａ



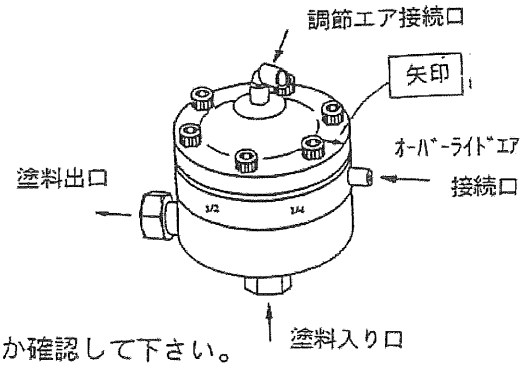
図Ｂ

ＨＧＢ－５１０タイプのレギュレーターの塗料圧力は別に設置されたエアーレギュレーターの圧力により調節されます。（カバーの上にあるコネクターに４ｍｍのナイロンチューブをつないで下さい。）

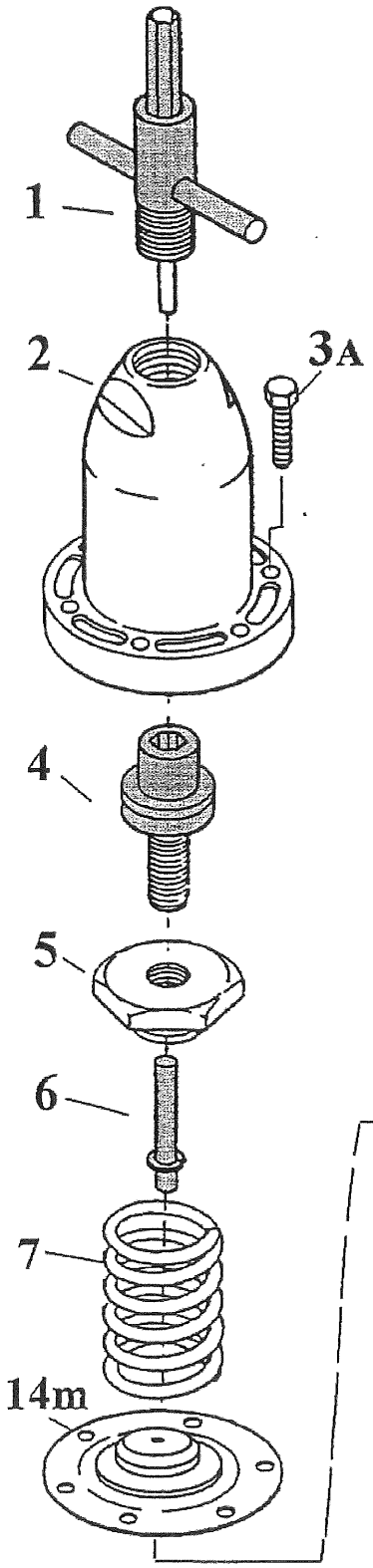
ＨＧＢ－５１０レギュレーターを洗浄するには、オーバーライド用エアコネクター（８Ａ）を通して０．５～０．７Ｍｐａのエア圧を加え、ダイアフラムを全開にしてから行って下さい。

注意： 洗浄を終了する前に、エアーの圧力が残っていないか確認して下さい。

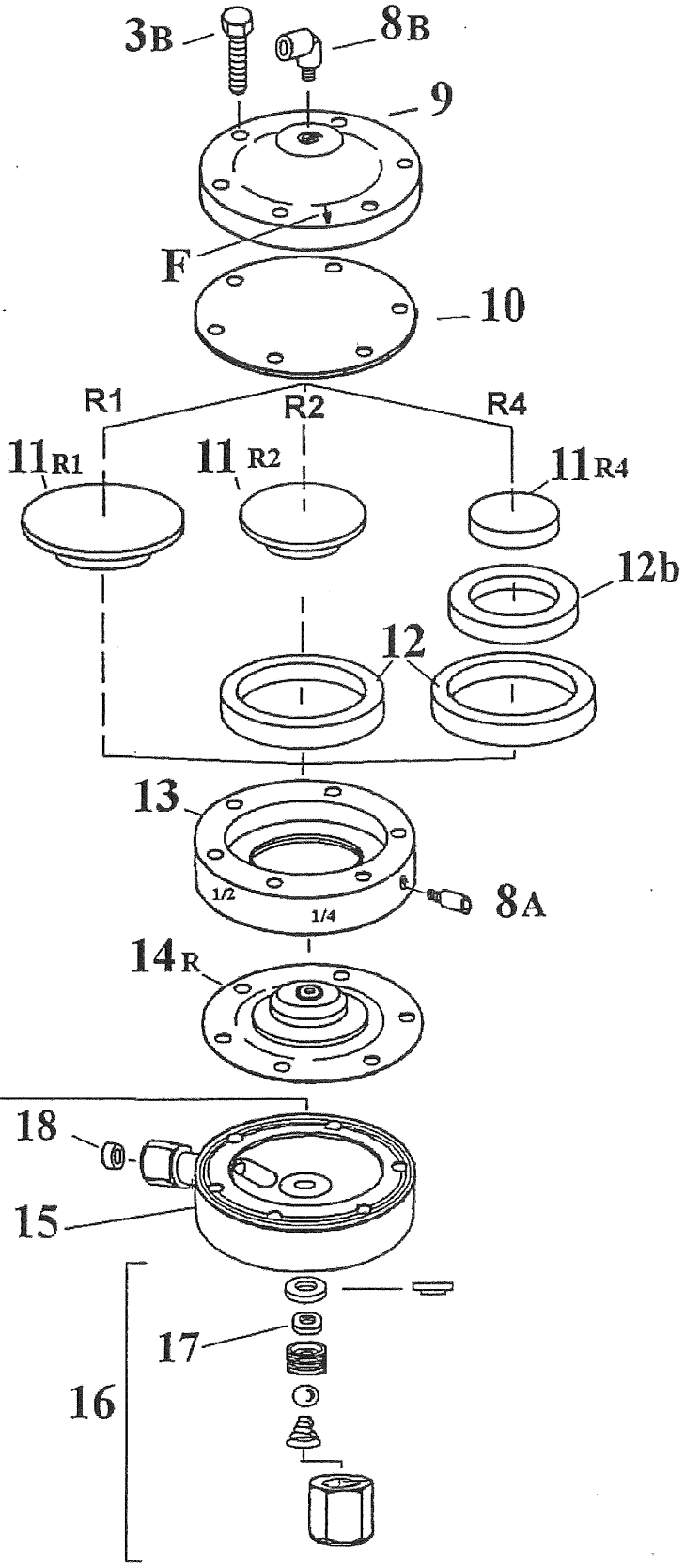
ＨＧＢ－５１０



HGB 509 / 609...



HGB 510 R1 / R2 / R4



部品表

項番	部品番号	部品名称	数量
1	HGB-404-1	調節キー	1
2	HGB-28	カバー	1
3A	S1390H	HGB-509,609用六角ボルト M5×16	6
3B	S1330H	HGB-510用六角ボルト M5×25	6
4	HGB-408H	アジャスティングスクリュー	1
5	HGB-7	アジャスティングナット	1
6	HGB-403H	ピンアッセンブリー	1
7	HGB-13H	HGB-509&609-5用スプリング	1
	HGB-42	HGB-609-1,2用スプリング	1
	HGB-43	HGB-609-9用スプリング	1
8A	S-24383	ナイロンチューブ用コネクター(4×M5)	1
8B	SSP-6462	ナイロンチューブ用エルボコネクター(4×M5)	1
9	HGB-54	HGB-501用カバー	1
10	HGB-55	HGB-510用エアダイアフラム	1
11R1	HGB-67	HGB-510-R1用ディスク	1
11R2	HGB-56	HGB-510-R2用ディスク	1
11R4	HGB-63	HGB-510-R4用ディスク	1
12	HGB-68	R2,R4用インターミディアリーワッシャー	1
12b	HGB-64	HGB-510-R4用ディスクガイド	1
13	HGB-57-1	インターミディアリーボディ	1
14m	HGB-422	HGB-509&609用ダイアフラムASSY	1
14R	HGB-424	HGB-510用ダイアフラムASSY	1
15	――――	レギュレーターボディ	1
16	HGB-426	バルブキット(ボール,スプリング含)	1
17	S28216	ガスケット	1
18	HGB-62	ガスケット	1

予防保全

使用後は溶剤による定期的なレギュレーターの洗浄をお勧めします。

レギュレーターと二次側の塗料ラインを洗浄するには下記の手順で行って下さい。

1、一次側ラインの圧力を抜いて下さい。

2、調節キーの丸棒部をレギュレーターに差込み、右へ一杯にねじ込んで下さい。 これでバル ブ が全開状態になります。

3、レギュレーターからエアー圧を用いて二次側を吹き戻します。 ガンをつけたままでエアーキャップリングを緩め、エアーキャップに布をあてて引き金を引きます。これによりガンからエアーが逆流し、二次側から塗料を戻します。

4、レギュレーターの外側は溶剤に浸した布で定期的に掃除して下さい。

部品の交換

注意： ＨＧＢ－５１０に関して、保守点検の前には一次側の圧力を抜いて下さい。

ＨＧＢ-５０９及び６０９は、調節キーを使いスプリングを緩めておいて下さい。又、工具を用いて六角ボルトを取り外して下さい。

ダイアフラムの交換

1、ダイヤフラムアッセンブリー（14個）はワッシャーとプラスティックの偏向板で構成されています。

これらの部品は取り外せませんので、もしダイヤフラムや偏向板が壊れたら、新しいものと交換して下さい。

2、分解図に沿って、再度組み立て下さい。

3、レギュレーターにカバーをのせトルク７．５から８ｍＮで６個のネジで締めて下さい。

バルブアッセンブリーの交換

1、レギュレーターボディ（１５）からバルブキット（１６）を取り外して下さい。

このバルブキットにはボールとスプリングがセットになっています。 分解することもできますし，バルブキットごと交換もできます。

2、バルブキット（１６）をレギュレーターボディー（１５）にシーリングコンパウンド、ロックタイト２２２を用いねじ込んで下さい。

サービスチェック

症状	原因	対策
A、圧力調整がきかない。（圧力が上がってしまう。）	1、バルブステムの位置が正しくない。 2、ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑから漏れる。	1、Oｰﾘﾝｸﾞやﾎﾞｰﾙﾊﾞﾙﾌﾞが壊れていたり、汚れていないか確認する。 2、交換する。
B、調整圧力が低下する。	1、塗料供給側やﾊﾞﾙﾌﾞｼｰﾄｲﾝﾚｯﾄのつまり。 2、ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑの破損。	1、つまりを取り除く。 2、交換する。
C、ﾚｷﾞｭﾚｰﾀｰﾎﾞﾃﾞｨから塗料 が漏れる。	1、６角ﾎﾞﾙﾄ 2、がゆるい。 2、ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑの破損。	1、6個のﾈｼﾞ締め直す。 2、交換する。

アクセサリー

部品番号

1、圧力計

AT1/4 50x0.7Mpa 標準

GK-10-271x0.2Mpa 低圧用

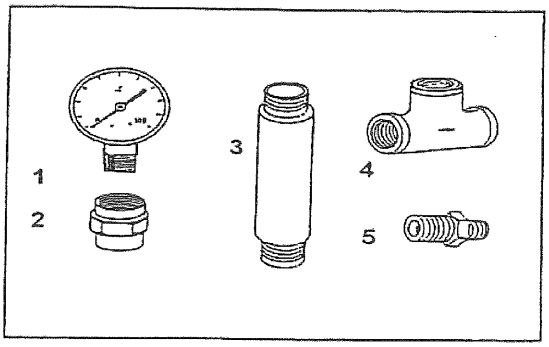
GK-10-271x1.0Mpa 高圧用

2、 S－3008 SUS アダプター 1/4G メス

3、 S－3007 SUS ライザーチューブ 1/4Gオス

4、 S－3006 SUS ティー 1/4Gメス

5、 S－3009 SUS 六角ニップル 1/4 Gオス



ランズバーグ・インダストリー(株)

ビンクス・デビルビス事業部

本社 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦１－１５－５

ＴＥＬ045-785-6434 ＦＡＸ 045-785-6517